

令和6年度 大田市新庁舎整備検討市民会議 報告書

目次

市民会議の概要	01
会議報告	03
第1回レポート	04
第2回レポート	07
第3回レポート	08
第4回レポート	11
市民会議の意見を元にした新庁舎のイメージ	13
市民会議委員名簿	18

1. 市民会議の概要

① 趣旨・目的

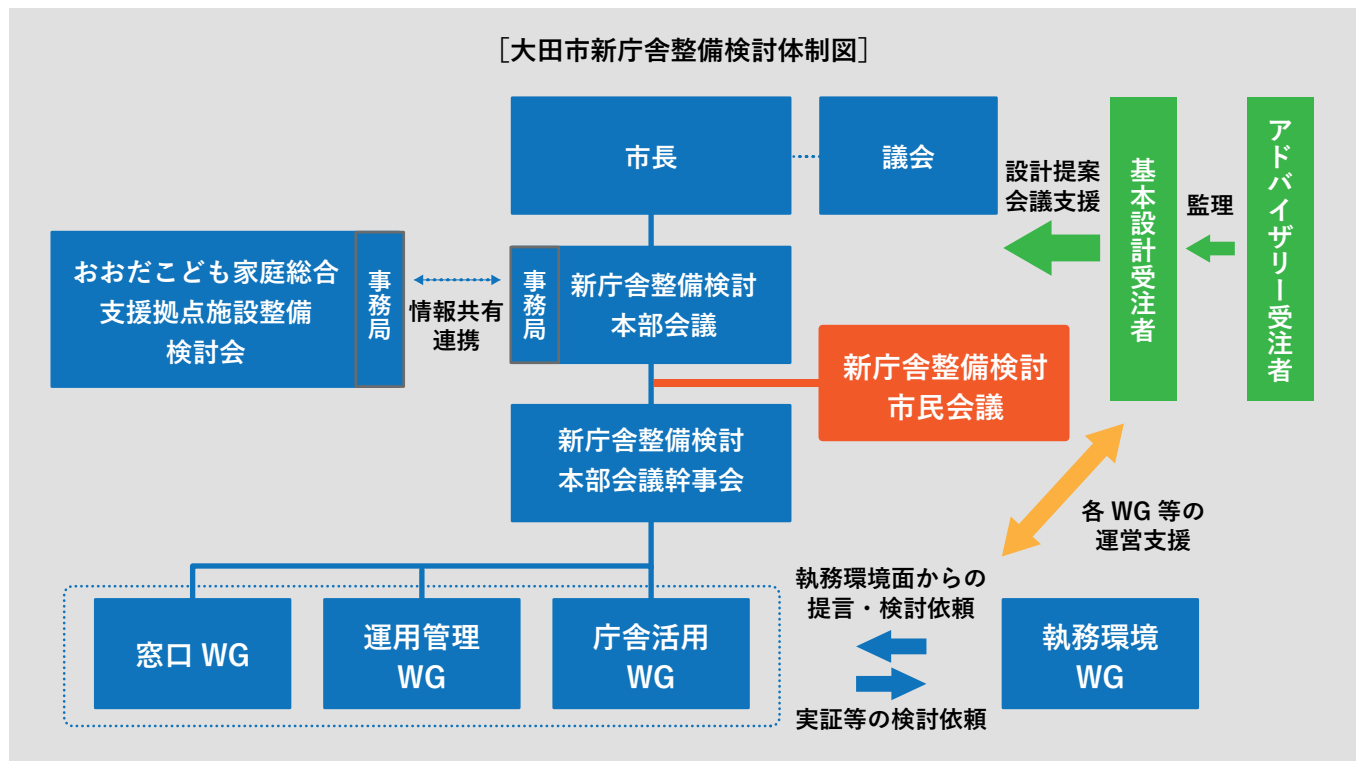
大田市新庁舎整備検討市民会議（以下、「市民会議」と言います。）は、新庁舎整備にあたり、市民が活用する空間、機能のあり方を中心に、新庁舎の機能に係る様々な視点での市民からの提案を受け、今後の設計検討の材料とするため、市民の意見を伺う場として開催したものです。

② 位置づけ

市民会議は、新庁舎整備にあたり、基本設計での検討段階から、様々な立場の市民の意見を伺う場として位置付け、公募市民および各種関係団体からの推薦者に参加いただきました。公募市民2名を含む、15名の委員で構成しています。

新庁舎の検討体制として、市の内部では副市長をトップとした「大田市新庁舎整備検討本部会議」を整備方針の決定機関とし、担当者で構成する「ワーキンググループ（WG）」等で具体的な設計内容を検討しています。

市民会議は、市内部の検討結果を参考としつつ、市民として必要と考える庁舎機能等について市に提言する立ち位置となります。



③ 公募委員選定方法

募集定員：2名

参加資格：市内にお住まい、または勤務している18歳以上の方

募集方法：市ホームページ、市広報による周知

募集期間：令和6年8月20日（火）～令和6年9月10日（火）

応募者多数の場合の選出方法：応募動機などを考慮の上、決定

④ 各種関係団体

No.	区分	団体	員数
1	市民協働団体	大田市自治会連合会	1
2	住民福祉団体	大田市民生児童委員協議会	1
3	住民福祉団体	大田市身体障がい者福祉協会	1
4	多文化共生の識者	適当と考えられる団体、個人	1
5	子育て世代	大田市PTA連合会	1
6	共創活動団体・高齢世代	大田市シニアクラブ連合会	1
7	共創活動団体	温泉津女子会	1
8	共創活動団体・女性団体	COLOR	1
9	経済団体・青年世代・共創活動団体	大田市青年協議会	1
10	経済団体	大田商工会議所	1
11	経済団体・女性団体	大田商工会議所女性会	1
12	経済団体	銀の道商工会	1
13	交通関係	石見交通株式会社	1

計13団体

⑤ 委員名簿（巻末）

2. 会議報告

下記のとおり、令和6年12月までに、計4回の会議を開催しました。

また、令和7年3月には、本報告書の紹介などのため、第5回目の会議を開催することとしています。

【第1回】

開催日時：令和6年10月29日（火）15:00-17:00

実施場所：大田市役所4階小講堂

参加者数：15名

主な内容：市民会議の趣旨と今後の予定を説明した後、これまでの新庁舎の検討状況を説明し、委員と意見交換を行いました。



【第2回】

開催日時：令和6年11月11日（月）10:00-19:00

実施場所：パレットごうつ、海田町役場

参加者数：11名

主な内容：先進事例の視察を目的として、市民利用空間の参考として江津市の『パレットごうつ』、建物規模が類似する近年の庁舎整備事例として広島県海田町の『海田町役場』を、それぞれ視察しました。



【第3回】

開催日時：令和6年11月29日（金）13:30-16:00

実施場所：大田市役所3階第二会議室

参加者数：13名

主な内容：第1回での意見交換、第2回での先進事例の視察を踏まえて、ワークショップ形式で、新庁舎に求める機能の意見交換を行いました。



【第4回】

開催日時：令和6年12月16日（月）10:00-12:00

実施場所：大田市役所4階大講堂

参加者数：11名

主な内容：第3回に出た意見をもとに、フロアイメージを提示し、市民会議として新庁舎に求める機能のまとめに向けた意見交換を行いました。



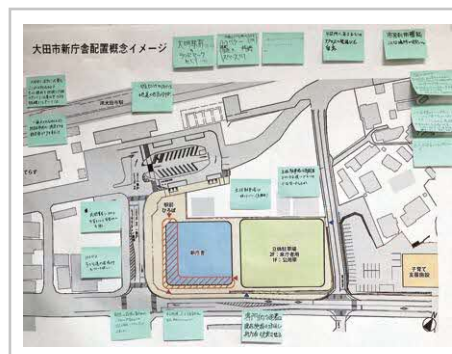
第1回 大田市新庁舎整備検討市民会議

開催日時：令和6年10月29日（火）15:00~17:00
会場：大田市役所4階小講堂 参加者数：15名

第1回目は主に情報共有を目的に、本事業計画に対する課題意識について意見交換し、論点を整理しました。次回以降の市民会議において、「市民利用機能」「行政機能」「駅前エリア」という3つのテーマに沿って議論することとしました。

当日のスケジュール

- 1 市民会議の趣旨説明
- 2 新庁舎に関する計画等の説明
- 3 新庁舎に必要なあるいは期待する機能について
- 4 意見交換
- 5 次回以降の予定について



④意見交換での主な意見

・市民利用機能について→ 13個

あったらいい機能 ▶ 学生が利用できるスペース、公園等、駅前に来るための目的や機能が必要

・新庁舎整備について→ 18個

予算 ▶ 建設費については大田市に合わせたコンパクトな計画が必要

規模・面積 ▶ 新庁舎は最低限の機能に絞るなど建設費を抑えるための検討が必要

市民への説明 ▶ 新庁舎を建てる意味を市民に認識してもらうことが課題

・行政機能について→ 17個

新庁舎 ▶ 多くの市民とコミュニケーションがとれる、人間味のある庁舎としてほしい

市民窓口 ▶ 申請はワンストップ型とし、直ぐに対応できるようにしてほしい

災害対策・防災 ▶ 災害時にライフラインを含めて機能するのか不安なので、市民との協力体制を

駐車場 ▶ 立体駐車場は不慣れな人には使いにくいのか？

・駅前エリアについて→ 13個

駅前の立地 ▶ 駅前のランドマークとなるような庁舎を作って欲しい

アクセス性 ▶ 自分の足で来られない人に配慮したアクセス方法の検討が必要

周辺地域の活性化 ▶ 庁舎周りを散歩できる場所や公園を設けるなど、健康増進ができる場所 他

合計61個の意見をいただきました。ここで出た意見は次ページの第1回意見一覧にまとめています▶



第1回 意見一覧 (1/2)

② 新庁舎に関する計画等の説明 ③ 新庁舎に必要なあるいは期待する機能についての説明を踏まえ、参加者よりいただいた意見を分類し、まとめたものです。

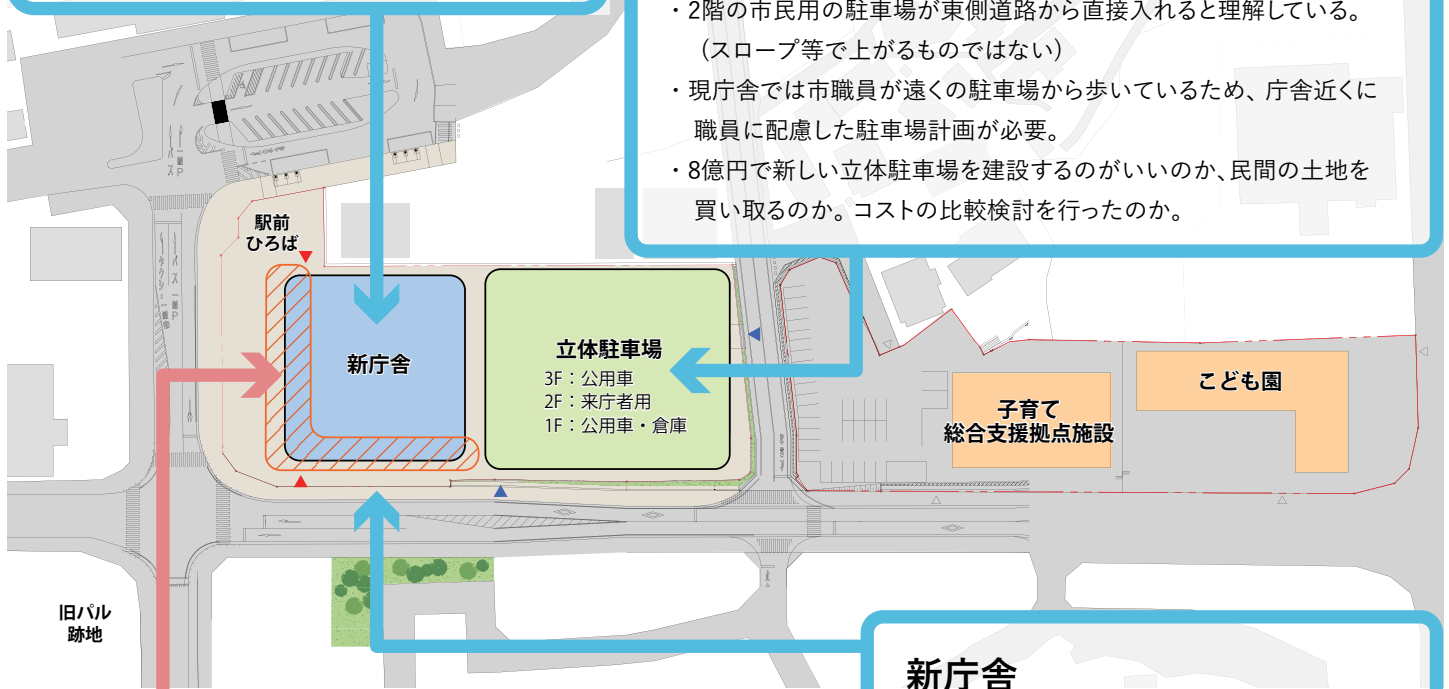
市民利用機能 行政機能

市民窓口

- ・人生のステージに関わる申請はワンストップ型で直ぐに対応できるようにしてほしい。
- ・大田市民アプリを作成し、スマホで事前に手続きを行い、来庁時は直ぐに書類が受け取れる。
- ・職員の体制は課ごとの対応ではなく、複数の課の業務が行える職員配置ができれば良い。

駐車場

- ・駐車場に8億円もかけるのであれば、旧バルの跡地を駐車場として利用して駐車場費用を削減すべきではないか。
- ・立体駐車場は不慣れな人には使いにくいのか？
- ・高齢者には立体駐車場は使いづらく危ない。
- ・立体駐車場は障がい者の立場で言えば、出雲のイオンやゆめタウン等の立体駐車場もエレベーターがあるので問題なく利用できている。
- ・2階の市民用の駐車場が東側道路から直接入れると理解している。(スロープ等で上がるものではない)
- ・現庁舎では市職員が遠くの駐車場から歩いているため、庁舎近くに職員に配慮した駐車場計画が必要。
- ・8億円で新しい立体駐車場を建設するのがいいのか、民間の土地を買い取るのか。コストの比較検討を行ったのか。



あったらいい機能

- ・案内表示にローマ字やフリガナ等のサインへの配慮。
- ・荒天候によりJRが止まった時の、旅行者や通勤客、学生が留まれる場所。
- ・1階を公園にする等、駅前に来るための目的や機能を入れなければただ建物を建てるだけになってしまう。
- ・市民利用スペースの事例があったが、開庁時間でなければ利用できないのであれば機能しないのではないか。
- ・ウェディング場としての活用等、連携を取りながら幅広い活用。
- ・商業施設の併設、買い物できる場所等、周辺を含めた整備。
- ・入浴、宴会ができる場所がほしい。
- ・パレットごうつは人が集まっているように、明確な目的が無くても行ける場所。
- ・みんなで使えるキッチン等、集まれる大きな箱的空間。
- ・駅前には学生が一番多い場所なので、学生が利用できるスペース。
- ・外国人観光客も見られるので、地産地消など地域のものが売れるお店があれば賑わいに繋がると思う。
- ・行政事務はもちろん、市民が色々な方面で参加できる庁舎(フリーマーケットや展示場)
- ・市民(特に高齢者)が健康について気軽に相談でき、健康維持を促進できる器具を使用できる。

新庁舎

- ・日常的に利用するターゲットは誰なのか。JRを利用するのは高校生しかいないのでは。
- ・高齢者と多くの市民とコミュニケーションがとれる分かりやすい人間味のある庁舎。
- ・一番大切なのは、利用する市民が満足できる新庁舎づくりをすること。
- ・大田市に本当に必要なニーズは何なのか？現状を把握して必要なサービスを明確に。
- ・既に建設計画が決まっている状態で、新庁舎のみの狭い範囲で考えなければならないことや進め方に違和感を覚える。

災害対策・防災

- ・災害時にライフラインを含めて機能するのか不安である。市民との協力体制を作って欲しい。
- ・新庁舎建設へ賛成。現庁舎は老朽化しており、災害時に大田市の要が倒壊してはならないと思う。

駅前の立地

- ・ 現庁舎の立地は案内表示が無く外国人に分かりづらいが、駅前となればわかりやすくなると思う。
- ・ 駅前ひろば等で農作物のフェアやイベントがあれば入りやすい。(韓国ソウル事例)
- ・ 駅前のランドマークとなるような庁舎を作って欲しい。

アクセス性

- ・ 自分の足で来られない人に配慮したアクセス方法の検討。
- ・ JR や石見交通との連携に留意して欲しい。
- ・ 小さな拠点づくりのように、民間と協力して庁舎への送迎があると良い。
- ・ 新庁舎整備だけで駅前の魅力が作れるか疑問に思う。周辺を含めた賑わいづくりが重要。
- ・ 庁舎廻りを散歩できる場所や公園を設けるなど、健康増進が出来る場所が欲しい。



周辺地域の活性化

- ・ 公共の箱だけではなく、周辺の活性化の課題、街の課題に投資してもらいたい。
- ・ 子ども減りプール整備が出来ていない。駅前にプールを作って、子供たちが部活やプール利用で活用する賑わいを作った方が良いのではないかな。
- ・ 81億円あるのであれば庁舎に50億円、駅通り商店街の活性化に30億円投資し、商店街に分散して市役所機能がある方が良いのではないかな。人口が減って、市役所窓口が減るのであれば、商店街のリノベーションを民間譲渡して活性化した方が良く考える。
- ・ 80億円の進め方に違和感がある。スポーツクラブを入れるなど来る理由を入れていかないとコンテンツとして賑わいを創出できない。骨抜き協議になる。
- ・ 市民利用スペース等の事例があったが、本当に必要かどうか疑問。周辺を含めた整備が必要と考える。

規模・面積

- ・ 既存庁舎を減築して2階化して利活用するなどできないのか。安来市のように専門的な部署は離れていても良いと考える。分庁舎で良い。
- ・ 規模の8,200m²は減らすことが出来ないのか。
- ・ 新庁舎は市に必要な最低限な機能に絞るなどの建設費を抑えるための検討が必要。
- ・ 一般市民の利用が少ない課は別庁舎とするような建設費を抑えるための検討が必要。安来市の建築課は伯太町にある。現庁舎の2階以下を残して耐震補強し活用する等。
- ・ 1階スペースでの様々な活用事例が挙げられているが、具体的にどのくらいの面積を想定しているのか。例えば会議はあすてらすで行う等周辺施設の利用を考えて欲しい。
- ・ 市の規模に応じた必要最低限の設備機能でもよいのでは。

市民への説明

- ・ 新庁舎を建てる意味を市民へ伝えることが課題と考える。
- ・ 増税など期待よりも不安の方が大きい。
- ・ 市民はどの程度納得しているのか。
- ・ 上がった提案内容をどのようにして設計に盛り込むのか。誰がどのように判断するか？
- ・ 4回の市民会議後も継続できないのか。

予算

- ・ 予算81億円はもともと30億円であった。市民に納得いく説明を行ったのか。
- ・ 視察する海田町は人口3万人弱。大田市よりも少ないがパンフレットを見ると30億円程度で建設している。同じようにできないのか。
- ・ お金を生み出すために1階に民間を入れて収益を発生する仕組みが出来ないのか。
- ・ 81億円の財源について。市庁舎建設の市債(借金)が、子ども、孫世代にも波及することを懸念している。安価にできないのか。
- ・ これほどのお金を使うことが本当に必要なのか。税金が上がるのではないかな。
- ・ 建設費については大田市に合わせたコンパクトな計画が必要。1階に民間業者が入って家賃収入の仕組み作る等。
- ・ 30～40年後を想定した計画が必要に思う。例えば広場に芝生を設置するとメンテナンスにコストが掛る。

第2回 大田市新庁舎整備検討市民会議

開催日時：令和6年11月11日（金）10:00~19:00

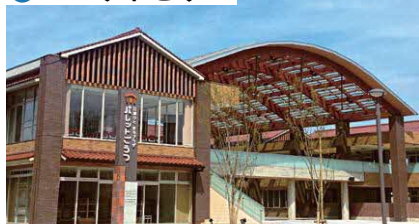
会場：パレットごうつ、広島県海田町役場 参加者数：12名

新庁舎にはまちの活性化や多様な市民活動をサポートするために、市民の交流の場や賑わいを生む場として、市民が活用できる空間の整備を検討しています。

第2回の市民会議では、市民利用機能の参考事例として他の公共施設を視察しました。

駅前の立地条件を共通とするパレットごうつ①では、市民の居場所のあり方や広場の使い方を中心に視察しました。また、海田町役場②では、庁舎1階を市民利用に特化した空間のあり方や役所への日常的な訪れやすさを参考とすることができました。

① パレットごうつ

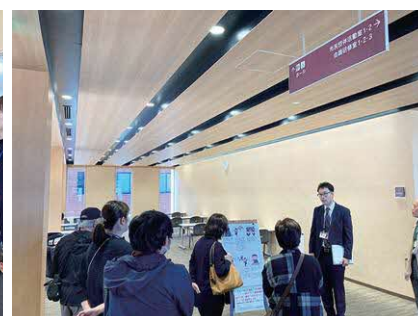


② 海田町役場



① パレットごうつ(島根県江津市)

<視察のポイント> 市民利用機能の参考事例として駅前に立地し、駅利用者や学生の自由利用が多く、屋内外に多くのフリースペースを設けている点。（平成28年8月竣工、延床面積4411㎡、2階建て）



<視察の感想> 雨天時に使えるイベントスペースは良い / 舗装されている方がイベント時の車両進入や、メンテナンスが簡単で良い

② 海田町役場(広島県海田町)

<視察のポイント> 近年竣工の同規模庁舎事例として1階に市民交流空間、多目的ホールを配置し、2階に市民窓口を配置している点。（令和5年9月竣工、延床面積6668㎡、4階建て）



<視察の感想> 市民利用機能を1階に集約配置し、行政利用時以外は、自習室として会議室を高校生などに一般開放するのは、庁舎の利活用としては望ましい / 木材を利用した優しい印象の庁舎 / 色彩計画に配慮がなされ、明るく楽しい印象が良かった

第3回 大田市新庁舎整備検討市民会議

開催日時：令和6年11月29日（金）13:30~16:00

会場：大田市役所3階第二会議室 参加者数：13名

第3回の市民会議では、大田市の新庁舎にどのような機能があれば交流や賑わいが生まれるかのアイデア出しを行いました。

第1回目の意見をテーマごとにまとめた配置図を利用して、班別での討議を行いました。市職員、設計者を交え活発な意見交換が行われ、たくさんのアイデアが出ました。

当日のスケジュール

- ① 挨拶、第1回市民会議振り返り
- ② 第2回市民会議振り返り
- ③ 「予算」「規模・面積」「市民理解」の説明
- ④ 子育て支援拠点施設について
- ⑤ テーマ別ディスカッション
- ⑥ 発表・まとめ



テーマ別ディスカッション

① 市民利用機能



② 行政機能



③ 駅前エリア



ここで出た意見は次ページの第3回意見一覧にまとめています▶

ディスカッションのまとめ

公園機能やイベントの実施、周辺施設と一緒に活用できるような機能など、サードプレイス※として市民が使いやすい庁舎にするための提案がありました。また、職員が集中して執務ができる環境、市民と職員が交わる空間、市民が主に使う場所といった、グラデーションを持たせた環境づくりを求める意見をいただきました。

※サードプレイス：自宅、学校、職場以外の、心地よく過ごせる第3の場所のこと。

第3回 意見一覧 (1/2)

市民利用機能、行政機能、駅前エリアについて話し合っただけで出た意見を分類し、17の項目にまとめました。
設計に反映が可能→● 一部反映が可能→● 反映が難しい→■ にそれぞれマークがついております。

… 市民利用機能

… 行政機能

… 駅前エリア

1. 気軽に立ち寄れる

- 大人数だけでなく、個人でホッと出来る場所 ● 老若男女全て集まれる機能 ● 遊びに来られる市役所(本、勉強、話)
- コワーキングスペース ● WEBカイギ堂 ● フラッと立ち寄れるサードプレイス、居心地の良い場所
- 駅前に出れば何かがある、車を持たない人にも居場所になる
- コインランドリー、カウンターやカフェで待ち時間を過ごせる ■ コピーセンター、各種デジタル機器のレンタル可能に!

2. イベントで賑わう

- イベント広場で若い人と市民が交流する場所 ● キッチンカーの設置エリア ● イベント用の用具倉庫を(共通で使えるよう)
- 天井を高くして1階を公園化(キッチンカーなど入れる) ● コンビニ、カフェ、キッチンカー、出店のスペース(地元企業)
- (シェアが使えるような)プロ用のキッチン→イベント、ウエディング ● 飲食テナントでは長続きしないかも
- 列車の到着時に庁舎外壁にプロジェクションマッピングで大田市をPR! ● 農大、邇摩高との協力展示?
- 議場でウェディング、チャペル、議長が牧師 ■ 議場が他の利用も出来る場であって欲しい

3. 屋上が使える

- 屋上スペース ■ 屋上広場 ■ 屋上コンサート、神楽 ■ 庁舎を高層化して屋上庭園を設けて展望テラス設置
- 大田町で一番高い建物、屋上ビアガーデン

4. 夜にも利用できる

- 夜行ける場所、今は真っ暗、おぼけ屋敷のよう ● 夜に出来るイベント、屋上で星空を見る

5. 土日也能る

- Wi-Fi、空調、自販機でいいので飲料があって、テーブルとイスがあり、夜間休日也能るスペース、会議室よりゆったりした感じ
- 土日の利用が出来る借りやすいスペースが欲しい ■ 土日でもその場で予約、利用ができるように

6. 子どもに優しい

- 赤ちゃんを連れて来た時見てくれている、預けておける場所(遊べる場所) ● 小さな子どもの遊び場、施設と一緒に
- 子育て拠点施設との連携、新庁舎と子育て拠点施設の往来がしやすいように ● 新庁舎と子育て拠点施設の一体化を!!
- 庁舎と子育て拠点施設の間に広場(屋根あり)

7. 市民への情報が集まる

- 庁舎に掲示板の機能 ● 市内の各イベントの可視化、今何がある、いつ何がある ● ぎんテレが入ると良い ● 大型ビジョン
- イベントや募集情報(告知したいこと)の集約窓口をつくる、併せて発信機能+市内イベントかぶりの調整役
- 企画調整室、イベントなどを企画すると同時に他イベントや関連情報が手に入る ● 観光施設のライブカメラの設置(観光案内も含めて)

8. 文化芸術に触れる

- eスポーツ拠点 ● 神楽が出来るスペース ● 駐車場で映画 ● 新庁舎にプロジェクションマッピング

9. 生涯学習で元気に

- プール、クラブ活動施設 ● 学校の統合もあるから、みんなで共同して使える ● 健康増進、小中学校のクラブを移行、お年寄り
- 小中高のクラブ活動の拠点 ● 各学校が集まって部活の指導が出来る(今の先生大変)
- 趣味のアドバイザー(市民の人)がいてほしい ■ 終活定住の大田市

第3回 意見一覧 (2/2)

市民利用機能、行政機能、駅前エリアについて話し合っただけの意見を分類し、17の項目にまとめました。
設計に反映が可能→● 一部反映が可能→● 反映が難しい→■ にそれぞれマークがついております。

■ … 市民利用機能 ■ … 行政機能 ■ … 駅前エリア

10. 明るいイメージ

- 駅前が明るい、市のイメージも明るくなる→防犯につながる ● 庁舎内が明るい色だと良い!(カラーを取り入れる)
- 庁舎内備品、庁舎の外観等メンテナンスが重要!!
- 庁舎の建物は主体部は鉄筋コンクリート等で良いが、木材を利用し和らいだ印象の空間も作って欲しい

11. 分かりやすい窓口

- 執務室と市民利用スペースが区切った方が良いのでは? ● 課の看板を色別にし、機能がわかる様に
- 分かりやすい表示、ピクトグラムなど ● 窓口問い合わせ時に市民がタイ回しになりにくい様に
- 市民窓口の利用としてわかりやすさが必要だが、海田町のような色のこだわりは不要と思う ● ワンストップサービス
- 住民票をコンビニで出せるようにして職員の業務を軽減させた方が良い
- 窓口相談時に、問診票のような仕組み、相談内容の明確化、コンシェルジュが補助
- 庁舎内に入った時に案内係の人がいて、どこに行けば良いか教えてくれると助かる
- コンシェルジュは必要、窓口への案内+課をまたいでの連携を促す

12. みんなの駐車場

- 前面道路に常設の可動式車止めを! ● 屋根付き、イベント活用 ● 立体駐車場は暗いので、防犯面で明るく!!
- 駐車場について、公共交通の利用促進を前提に、大きさなど再検討
- 駐車場は立体駐車場が必要か?安全性とか経済等を考慮して欲しい ● 立体駐車場が真ん中にあるのは交流が分断されてしまう
- JRとバスは利用しやすいとはいえ自動車利用が多いので、周辺利用にも使える十分な駐車スペースを
- 庁舎と子ども園を隣接させるようにしたらどうか(間に広場)、道を挟んで駐車場を設置

13. 外部との連携

- 各まちセンとのコラボ ● 各支所とのコラボ ● 各自治会とのコラボ
- 子育て支援施設や庁舎の機能をにじませる ● 市役所の機能を分散していく ● 窓口機能がまちづくりセンターへ分散?
- 相談ごとや活性化に向けた作戦会議、専門家として職員に出席してもらえる会議が出来るサービス

14. 災害時の拠点

- 災害時に一時的に集まれる様に ● 災害発生時に十分な体制をとってもらいたい
- 災害などの時にも一箇所に行政機能を集約して良いのか?
- 防災、日常、公園とキャンプ場へ ● 機能を集約する不安はある

15. 庁舎までの道のり

- 庁舎の前にバス停を(降りてすぐ庁舎) ● 交通計画(公共交通)との関係がポイント ● 職員の通勤手段をバス、JRで
- 庁舎を駅前ロータリーまで延ばす ● 雨天時の移動、アーケード化、地下道化等 ● 駅から市役所、子育て支援施設まで濡れずに行ける

16. 誘客施設の誘致

- ボーリング場とか映画館があればうれしい ■ 天国に一番近いグランドゴルフ場 ■ 無印良品を呼ぶ ■ プール

17. まち周辺のこと

- 最小限の規模にする ● 周辺への配慮
- コンパクトシティの象徴 ● まちはきちり分かれていない ● 駅前だから駅が無くならないように!
- 宿泊施設が大田市は少ない、近隣に宿泊施設が欲しい

第4回 大田市新庁舎整備検討市民会議

開催日時：令和6年12月16日（月）10:00~12:00

会場：大田市役所4階大講堂 参加者数：11名

第4回の市民会議では「様々な世代がより使いやすい庁舎とは」というテーマで、多様な人たちが賑わう庁舎をイメージしながらアイデア出しを行いました。「子ども」「子育て世代」「若者」「移住者・移住希望者」「観光客」「手助けが必要な人」という6つの人物像を設定し、その人物が庁舎に来た時に必要だと思われる機能についてディスカッションしました。その後、これまでの市民会議の意見をふまえて「みんなが求める庁舎の機能はどのようなものなのか」を発表していただきました。

当日のスケジュール

- ① 挨拶、第3回市民会議振り返り
- ② 第3回委員意見まとめと整備検討方針説明
- ③ 図面の説明
- ④ 人物像別ディスカッション
- ⑤ 発表・まとめ



人物像別ディスカッション

・子ども→12個

- ▶ 庁舎に色を使って、やわらかい、ワクワクするような玄関口 / 子どもにも自分で行かせることができそうな窓口

・子育て世代→5個

- ▶ 1階利用の際、土日はエレベーターやスロープを利用 / 1階の授乳室を駅側の出入りに

・若者→8個

- ▶ 映える庁舎 / Wi-Fi / エアコン完備 / ホールを駅の待合として利用

・観光客→12個

- ▶ チャレンジショップをもっと多くして、観光客にPRできる / コインロッカーに合わせて情報提供

・手助けが必要な方→3個

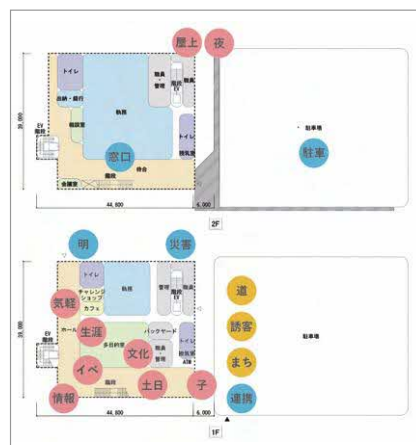
- ▶ 駐車場を1階に、スロープも / 松葉杖や車椅子の方も気軽に使える様に

・移住者、移住希望者→4個

- ▶ 市民との交流のきっかけづくりやイベント / そのエリアに詳しい人を紹介、つなげてくれる

・その他→5個

- ▶ 職員さんがゆとりをもって働ける環境 / 小さな窓口でも気軽に相談できる人材、雰囲気、対応できる体制 他
ここで出た意見は次ページの第4回意見一覧にまとめています▶



ディスカッションのまとめ

開庁時間以外の利用の仕方、動線を考えた際の授乳室の位置など、図面をみながら使いやすさを想像し、そこから、この立場の人だったらこうなると良いよね、という他者の目線の意見や、市全体を考え、庁舎をつくることで起こる活性化への起点としての意見も多くいただきました。

第4回 意見一覧

「様々な世代がより使いやすい庁舎とは」というテーマで、カードに書かれた人が庁舎に来た時に必要だと思われる機能について人物像にあわせてディスカッションをしました。



- ・ 飲食が入るなら高過ぎたり、おしゃれ過ぎたりしない
- ・ キッズスペースなど、手続きなどの間子どもが落ち着いて居られる(現庁舎では連れて来られない)
- ・ 団体で使えるような荷物置き場・子育て支援団体などの用品を置いておくところ
- ・ 簡単な印刷や手続きができる場所(高齢者もサポート) ・レンタルスペース ・子育てサロン
- ・ 学習スペースは他にもあるのに市庁舎に必要??コストとのバランス、税負担
- ・ 庁舎に色を使って、やわらかい、ワクワクするような玄関口 ・子どもにも自分で行かせることができそうな窓口
- ・ 木材の風合いやカラーの使い方であやすい雰囲気(海田町のように) ・また来たいと思う窓口



- ・ 授乳コーナーだけでなく、搾乳コーナーも
- ・ 男性が入りやすいように工夫する
- ・ (1階利用の際)土日はエレベーターやスロープを利用
- ・ 1階の授乳室を駅側の出入りに
- ・ 自転車置き場



- ・ 映える庁舎
- ・ 見晴らしが良いので多目的室を5階に
- ・ Wi-Fi ・エアコン完備
- ・ 外の明るさが欲しい ・夜が暗い
- ・ ホールを駅の待合として利用
- ・ 1階に議場があることで政治との関わりを持つことが出来、若者に政治への関心を持たせることができるのでは



- ・ 情報掲示板に人の声で地域PR、「あそこの〇〇がおいしかった!」「ここに行ってみるといいよ!」など
- ・ 大田市内に宿泊施設があると良い ・地域の食事(大あなご)を提供できる、情報発信
- ・ チャレンジショップをもっと多くして、観光の人にPRできる ・チャレンジショップは外からでも使えるように
- ・ 言語対応→母国語が対応してもらえると、すごく嬉しいと感じる
- ・ 備え付けスマホでの多言語翻訳 ・外国の方も多、多言語対応が必要
- ・ スーツケース対応のコインロッカー ・コインロッカーに合わせて情報提供
- ・ 大型ビジョン ・南側にキッチンカーが来れるスペースを確保



- ・ 駐車場を1階に、スロープも
- ・ 駐車場が2階だと2階の窓口が開いていない土日はどうする?
- ・ 車椅子の方や松葉杖の方も気軽に使える様に



- ・ その地域の良さをアピール、紹介できる、してくれる
- ・ ビジネス相談、商工会出張相談所
- ・ 市民との交流のきっかけづくりやイベント
- ・ そのエリアに詳しい人を紹介、つなげてくれる

その他 … 5個

- ・ 来庁時の優しい対応、言葉遣い、挨拶、入りやすい、また来たいと思うような雰囲気は施設どうこうではないのでは
- ・ 職員さんの対応がキー→職員さんがゆとりをもって働ける環境 ・小さな窓口でも気軽に相談できる人材、雰囲気、対応できる体制
- ・ 市民の声にすぐ対応する(良いことも悪いことも) ・投書できるシステム

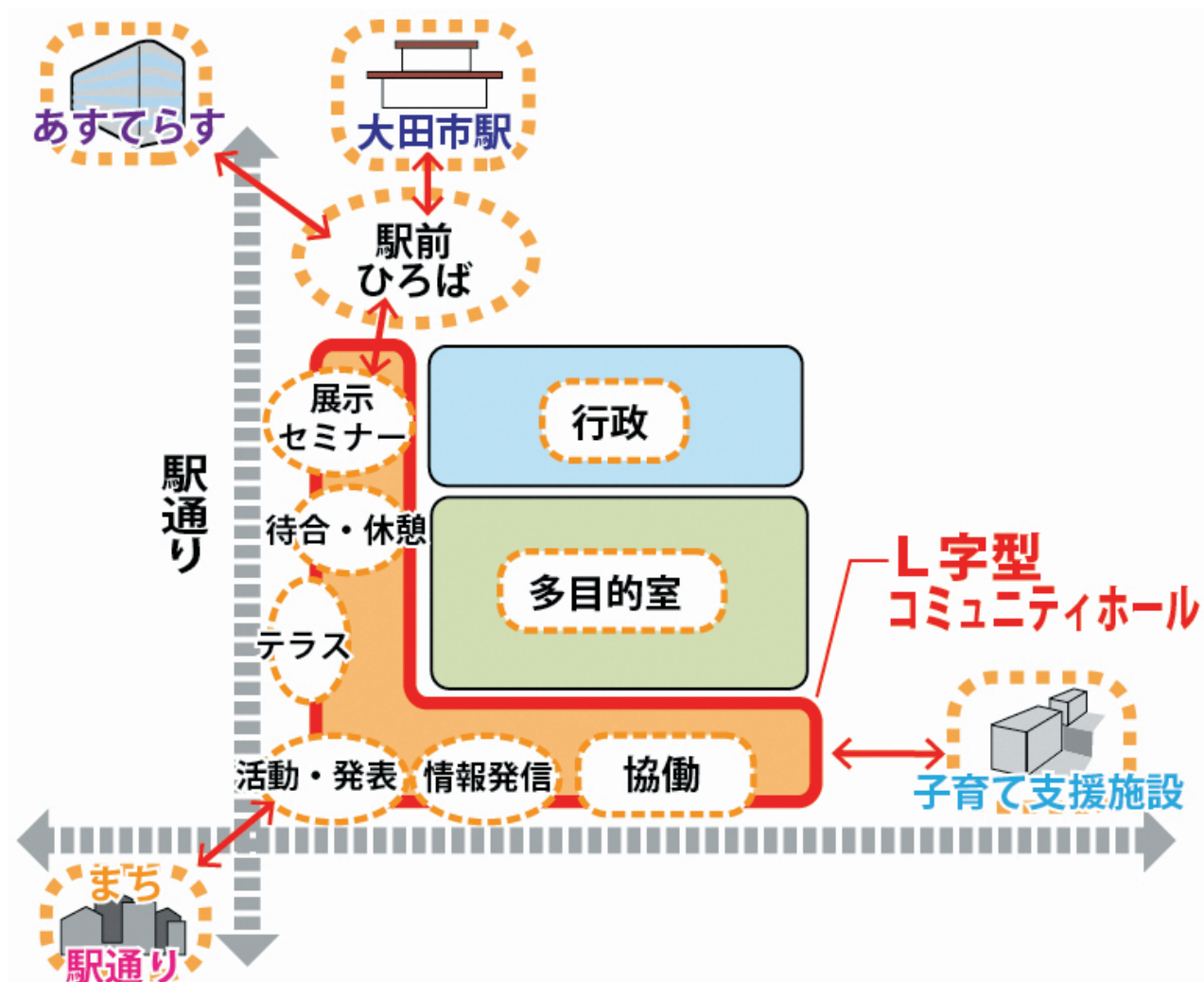
合計 49 個

3. 市民会議の意見を基にした新庁舎のイメージ

※会議の意見を踏まえた、利用機能のイメージ図となります。今後の設計検討で変更となることがあります。

3回目市民会議の意見から、考えられる利用方法をイメージして作成したダイアグラムです。

L字型のコミュニティホール、多目的室を主な場所とし、待合や休憩、情報発信の場として利用するのが良いのではという案が出ました。ここから周辺施設との連携も視野に入れた「街の活性化」にも寄与する設計への展開を反映していく予定です。



① 1F：西側コミュニティホール（平常時・平日日中）



いつでも気軽に立ち寄れる空間

- どの世代も使いやすく、立ち寄りやすい空間を目指します。
- 屋外でのキッチンカーや、テラス、チャレンジショップでのブース出店に対応。
- テラス、テーブルでの飲食可能で、待合や休憩中のおしゃべりなど、気軽ににぎやかに使えます。

② 1F：多目的室周辺（イベント時・休日日中）



イベント開催も可能な交流拠点

- イベント、セミナー、物販、展示、飲食を含む会議など様々な使える多目的室を設けます。
- 市の会議や行事で使用する他、貸出スペースとして使用できます。
- 情報発信スペースを設け、市内のイベントなどの紹介を行います。

③ 1F：南側コミュニティホール（平常時・休日夜間）



休日夜間も使えるサードプレイス

- ホールは休日夜間も開放します。
- 学習、読書、コワーキングなど個人で使いやすい、ゆったりと過ごせるスペースを設けます。
- 夜も明るく、安心感のある環境とします。



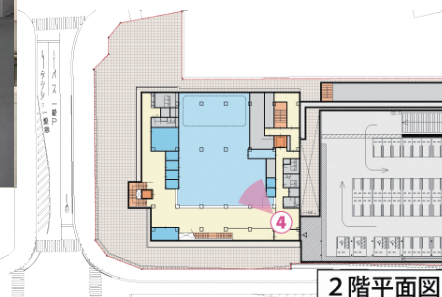
1階平面図

④ 2F：窓口・待合スペース周辺



分かりやすくスムーズな窓口

- ワンストップサービスを基本に、主要な窓口部署を集約します。
- 番号制の共通窓口と発券機を設け、移動が少なく行先が分かりやすい、スムーズな窓口を目指します。
- 目的に応じた部署や行先等を案内する、総合案内を設けます。



⑤ 外観パース：南側・駅通りから



災害時の拠点にもなる駅前のシンボル

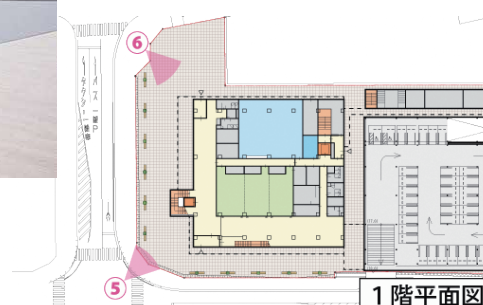
- 三瓶埋没林をイメージした、機能性を兼ねたシンボリックなデザインとします
- 庁舎、駐車場ともに災害時の避難場所とすることを検討します。
- 来庁者駐車場は屋根付きとし、荒天の心配の無い造りとします。
- 道路～駐車場～窓口を、バリアフリーでスムーズに移動できる位置関係とします。

⑥ 外観パース：北西側・大田市駅ロータリー付近から



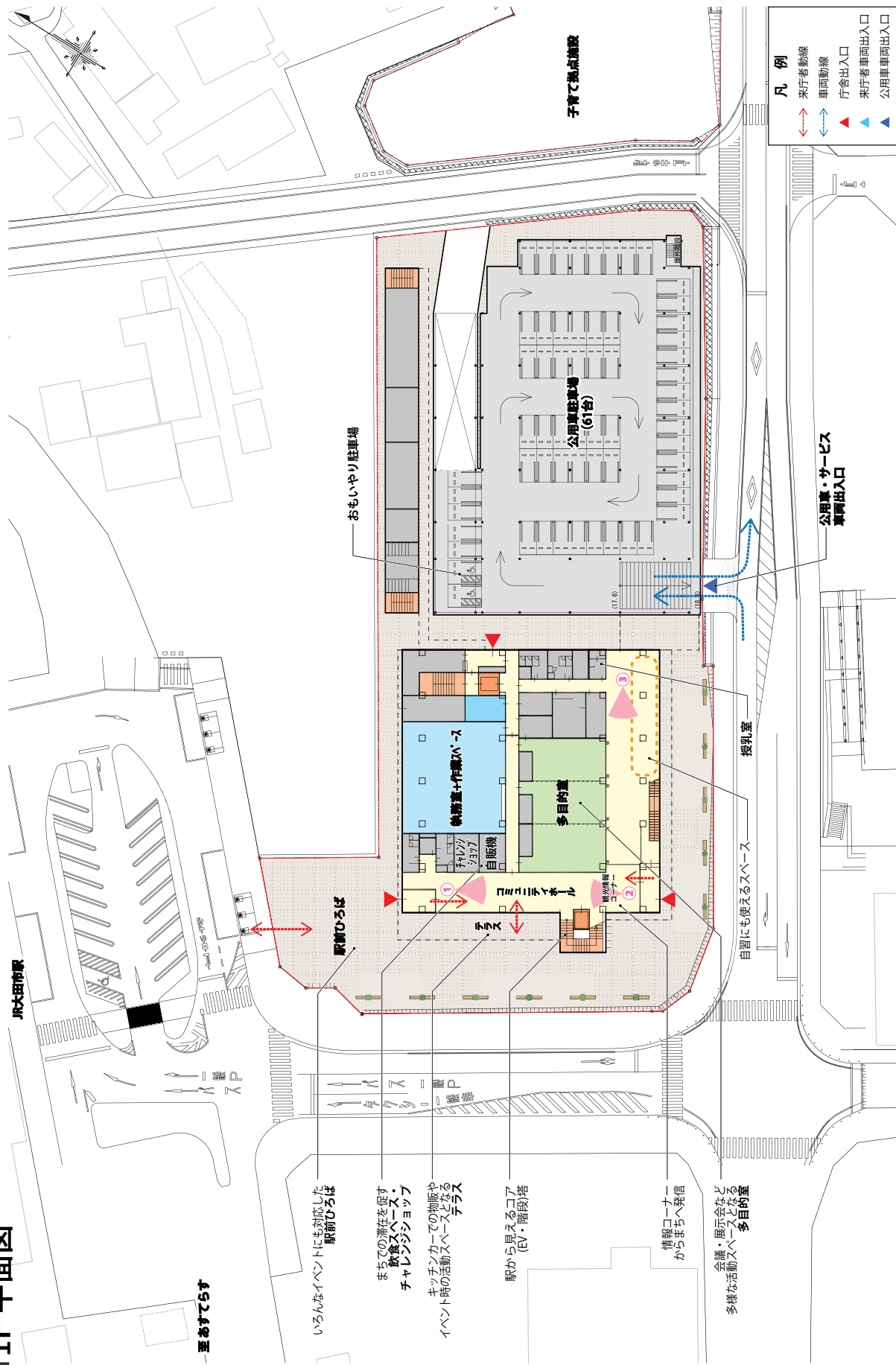
活用しやすい立地とスペース

- 駅、バスの利用を考慮した導線、環境整備を行います。ホール内での待合も可能です。
- 広場とテラスを設け、屋外での活動や休憩に利用できるとともに、屋外とホール、多目的室とつなげ、内外一体での企画も可能とします。



次ページに図面▶

1F 平面図



凡例

- 来庁者動線 (Visitor Circulation): Red dashed arrow
- 車両動線 (Vehicle Circulation): Blue dashed arrow
- 庁舎出入口 (Building Entrance/Exit): Red triangle
- 来庁者車両出入口 (Visitor Vehicle Entrance/Exit): Blue triangle
- 公用車車両出入口 (Public Vehicle Entrance/Exit): Blue triangle

1F平面図 1/250 (A1)
1/500 (A3)

至あすてらす

いろいろなイベントにも対応した
駅前ひろば

まちでの滞在を促す
飲食スペース・
チャレンジショップ

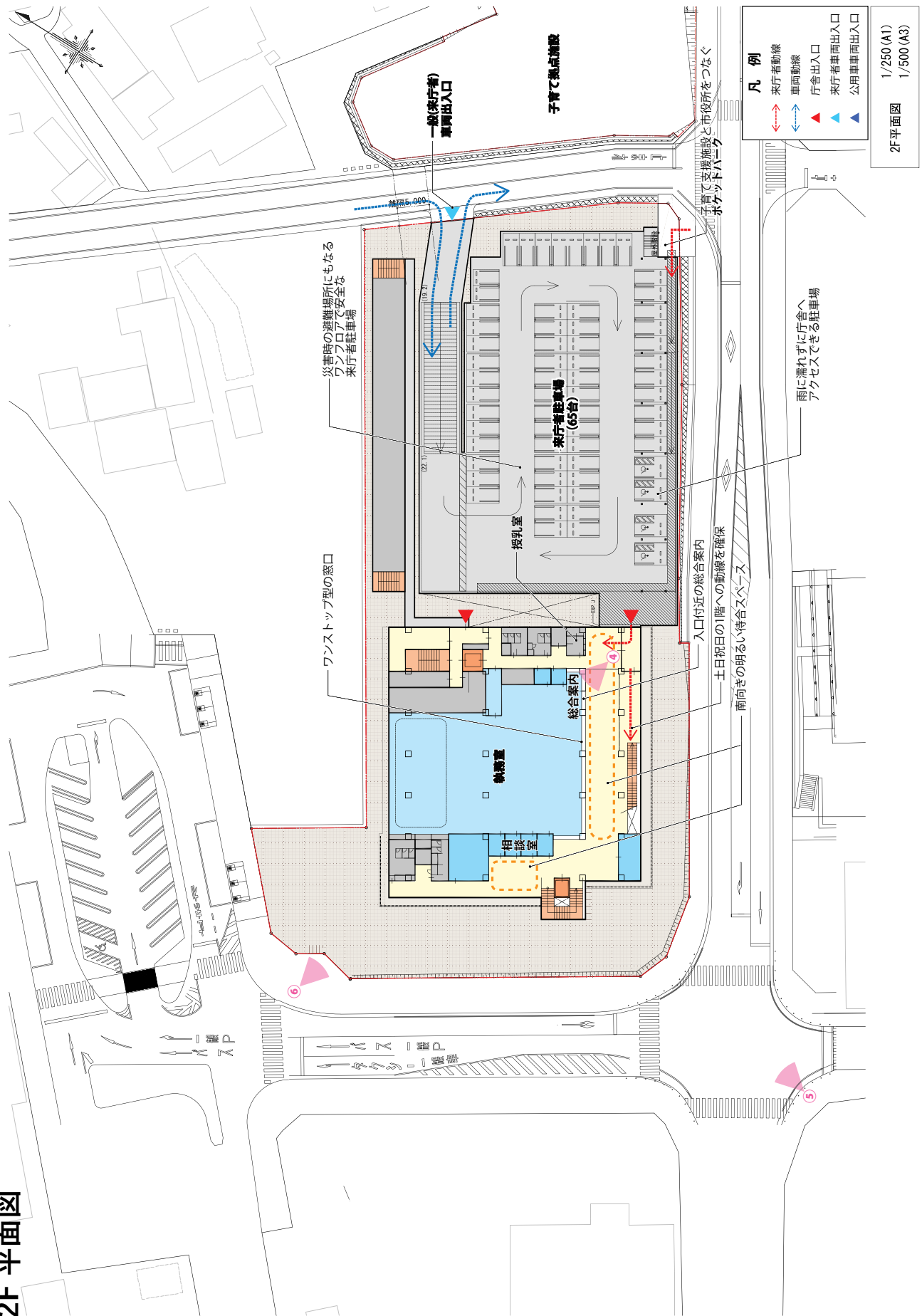
キッチンカーでの物販や
イベント時の活動スペースとなる
テラス

駅から見えるコア
(EV・階段)塔

情報コーナー
からまちへ発信

会議・展示など
多様な活動スペースとなる
多目的室

2F 平面図



大田市新庁舎整備検討市民会議 委員名簿

大田市新庁舎整備検討市民会議 構成

No.	区分	氏名	所属
1	市民協働団体	越峠 久志	大田市自治会連合会
2	住民福祉団体	小田 時通	大田市民生児童委員協議会
3	住民福祉団体	山田 一暁	大田市身体障がい者福祉協会
4	多文化共生の識者	サトウ・アンドレイア・ユリコ	大田市政策企画部 まちづくり定住課
5	子育て世代	坂田 聖二	大田市 PTA 連合会
6	共創活動団体・高齢世代	福田 幸司	大田市シニアクラブ連合会
7	共創活動団体	宮里 陽子	温泉津女子会
8	共創活動団体・女性団体	藤間 麻衣子	COLOR
9	経済団体・青年世代・共創活動団体	金子 敦司	大田市青年協議会
10	経済団体	藤原 明美	大田商工会議所
11	経済団体・女性団体	森脇 実千代	大田商工会議所女性会
12	経済団体	河村 隆弘	銀の道商工会
13	交通関係	渡辺 健一	石見交通株式会社
14	公募委員	伊藤 博治	公募参加者
15	公募委員	松場 忠	公募参加者

(敬称略)

令和6年度 大田市新庁舎整備検討市民会議報告書(令和7年3月 発行)

編集・発行・市民会議主催 / 大田市

設計 / 佐藤総合計画・コラム設計事務所設計業務特別共同企業体

市民会議テーブルホスト / (株)佐藤総合計画 (株)コラム設計事務所 (同)REUNION STUDIO 大田市

市民会議コーディネート / (同)アトリエカフェ